日本ＳＯＤ研究会報

特集 丹羽療法 治療レポート

がん検診、人間ドッグは必要か?

歯医者さん、獣医さんから多数質問

歯周病にSODは有効か

発行元 日本ＳＯＤ研究会 藤沢
住　所 〒154-0012
東京都世田谷区
駒沢 5-13-1-205
TEL. 03-5787-3498
http://www.sod-jpn.org/

新年あけまして
おめでとうございます。

ＳＯＤ研究会の会報も10年を超え、141号を発行するにいたりました。

丹羽先生へのインタビューを中心にした今日の形態になって５年になります。

これもひとえに皆様からのご質問や愛飲者の方々が体験された貴重なお話のおかげです。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後、さらに皆様の健康に役立つ会報作りに励んでまいります。

これからも、ご意見ご希望をお寄せいただければ幸いです。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

さて、今回は、２本のテーマをもとに丹羽先生にお話をうかがってきました。ひとつは「健康診断のための検診などは必要か否か」

もうひとつは、ＳＯＤに関して歯科医師の方や獣医さんからの問い合わせがすごく増えていて、そのなかの歯科医師の方々から一番多かった質問「歯周病にＳＯＤは有効か」

がん検診、定期健診、人間ドッグは必要か否か

ここ最近、週刊誌などで「人間ドッグやがん検診は受けないほうがいい」という特集記事が掲載され、さらにそのことを裏付けする

ような単行本も何冊か出版されています。いずれもかなりの反響があったといいます。

そこで今回は、ズバリ、このことを丹羽先生にうかがってきました。

その前に、このことを丹羽先生に聞いてみようと思い立ったきっかけの医療ジャーナリスト船瀬俊介氏が書いた本「がん検診は受けてはいけない」という本を紹介したいと思います。この本は医学博士森下敬一氏が推薦し、さらに免疫学の安保徹医学博士や、「患者よ、がんと闘うな」で著名な慶応大学医学部講師の近藤誠医学博士なども対談で参加しています。その目次だけでも衝撃の内容がずらりと並びます。

「がん検診、受けた人ほどがんになり早死にする」

「肺や胃のＸ線写真が発がんを促す」

「がん検診は８、９割のシロをクロにする」

「がん死の８割は抗がん剤の副作用死」

「がんはあるのが当たり前。老衰死の８割にがんがあった」

「著名医師たちはがん検診を受けない」

本書によると、全米の最高水準の検査でも誤診率は25％もあるそうで、Ｘ線写真での読影ではやはり24％の技師の判断が他の技師と違っていたとか。さらに同じ写真を見せると31％が以前と異なる結論を出したそうです。ほとんど占いのレベルと言えます。検査結果だけでもこれだけあいまいなのですから、がんの定義はさらにあいまいになります。近藤医師は、がん検診で見つかる早期がんは良性の〝がんもどき〟なのに、それをがんだと告知し、やれ手術だ抗がん剤治療だ、放射線だとやっているうちに恐怖とストレスで本当の悪性がんに変化してしまうといいます。さらに手術でメスを入れると、免疫力が落ち、がんができやすい体質に変わってしまうとか。そもそも人間の身体にはがん細胞はあるもので、それがストレスや生活習慣などで大きくなったり小さくなったりしているのだそうです。実際に、がん検診などをまじめに受けている人ほど受けていない人よりもがんで死亡する率は、はるかに高いというデータが出ています。

そうしてこの本を読み進んで気づいたことは、抗がん剤治療に関する見解はほとんど丹羽先生の考えと一致していました。

「欧米ではがん患者に抗がん剤治療はもう率先してやらない。選択肢のひとつとして患者さんや家族が希望しない限りやらない」

と丹羽先生がおっしゃっていたことが、この本にもしっかりと書かれていました。

１９９０年にアメリカのＯＴＡ（アメリカ議会技術評価局といい国の検査機関）とＮＣＩ（アメリカ国立がん研究所）は〝がん三大療法である〟抗がん剤、放射線、手術はエビデンス（科学的根拠）がないと。危険でがんを増やし、患者の命を奪うものと発表したことです。これまで日本の西洋医学会は代替医療にエビデンスがないから認めないと言い張ってきましたが、

アメリカはその逆の結果を発表したのです。その証拠に、アメリカの国家が示した代替医療への予算が、10年間でこれまでの300万ドルから2億ドルへと100倍近く増えているのです。

丹羽先生の論文がアメリカで間もなく発表されるというのがうなずける話です。そうなると、近い将来、アメリカで丹羽療法が保険適用になる可能性があるということです。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

――健康診断や人間ドッグは受けないほうがいいという医師たちの話を良く耳にするのですが、先生はどのように？

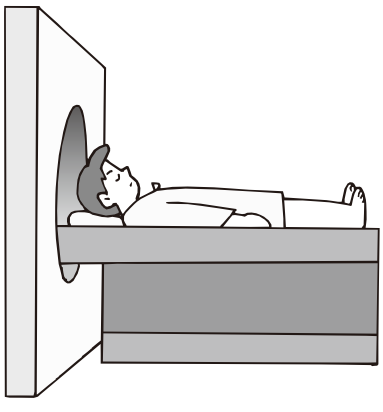
「まず、レントゲン。これがいけない。さらに人間ドッグでやるＸ線検査。これはもっと良くない。Ｘ線は放射能だから被ばくしたのと同じことになる。治療のために検査しなければいけないときにＸ線やＣＴはある程度仕方ないけれど、健康診断や人間ドッグではどうかなぁ。だいたいあんな集団検診で分かったときはもうおしまいです。胃カメラで初期の胃がんを発見するのはいいけれど、検診のバリウム飲んでやるＸ線なんかではほとんど見つけられないんですよ。あれで見つけられるくらいなら終わりです」

――検診の医師は新人が多く、がんの専門家でもなんでもないから結果が悪くてもあまりあてにはならないとか

「そうなんです。だいたいがんを見つける技術は非常に高度ですから、がんの専門家でないと見つけられない。集団検診などで診る医者では見つけられない。正常なものでも写りが悪くてうまく撮れなくて影が映る。そんなことで再検査と言ってしまうんですから、シロをクロと言われてしまう。人間は弱いから動揺する。そしてストレスでなんでもなかった胃に穴が開いてしまうなんてことは多いですよ」

――医者はほとんど健康診断や人間ドッグは受けないと聞いたのですが本当ですか？　先生はしていますか？

「医者が健康診断などを受けないのは本当、常識です。僕もまったく受けません。血液検査すらしないです。医者はみんなやっても意味ないことを知っています。こんな検査で分かるようなら終わりなんです。そんなことよりも普段の生活習慣をちゃんとやっているほうがずっと効果的です。ああいうのを受ける人というのは、検診や人間ドッグを毎年受けて異常なしだという安心がほしいんですよ。だいたい人間ドッグというシステムがあるのは日本だけですから。そしてその人間ドッグを受けている人のほとんどが普段でたらめな生



◆丹羽先生診察ご希望の方は
御紹介、御予約いたします。
※自由診療となります。
丹羽メディカル研究所
☎０１２０(７３１)１７５
もしくは
日本ＳＯＤ研究会
☎０３(５７８７)３４９８
まで　お電話ください。

活を送っていて心配だから受けるんです。検査で異常がなかったらまた無茶するんです。そうやって大丈夫と思って無理をしているとある日、ドーンとくるんです。検査や数字に頼りすぎてちゃんと自分の身体と向き合わないからだめなんです」

――でも早期発見、早期治療というから……。

「だから言ったでしょ。集団検診や人間ドッグなどで初期のがんなんかわからないんだ。早期発見されたがんのほとんどは悪性のがんじゃない。なんでもないのに撮影ミスの影で再検査されて、Ｘ線の繰り返しとストレスでがんができて抗がん剤と放射線で死ぬんだから。そんなことにお金など使わない。ＳＯＤを飲んで、ちゃんと睡眠をとって、適度な運動をして、肉乳製品はなるべくひかえた食生活を送ること。運動する時間がないというならひとつ手前の駅でおりて歩け！」

やはり、と納得してしまう明快な答えをいただきました。検診に関しても丹羽先生と本に書いてあることがほとんど一致していたのには驚きでした。

歯科医師、獣医さんからの質問
「歯周病にＳＯＤは有効か」

ここ数年、歯医者さん、獣医さんからのＳＯＤに関する問い合わせが急増しています。実際に愛飲者インタビューにも歯科医師の方には何人も登場していただき、医師ならではの専門的なお話をうかがいました。歯医者さん、獣医さんに共通するのは、みなさん最初はご自身やご家族のために取り寄せていたことです。ご自身で愛飲されてその効果を実感され、これは治療にも補助として使用できないかと思われるようです。実際、わんちゃんには獣医さんでなくてもあげているとおっしゃる愛犬家の方も多くいらっしゃいます。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

――歯周病と活性酸素は関係しているのでしょうか

「僕は歯が専門ではないので明確な関係はなんとも言えませんが、風邪ひいたり、疲れたりして体の免疫力が落ちると歯肉が腫れるでしょ？　腫れるというのは免疫力が落ちて歯の中が細菌にやられやすくなるということです。だから、年寄りは多いですよね。免疫力が落ちるから。あと、糖尿病の人は歯周病になりやすいですね。それは糖尿病が合併症の多い病気だからです。それと糖尿病になると唾液の量が減るから、唾液で口内が殺菌されなくなる。だから歯周病になりやすい。よく、歯周病になって糖尿病が発見されたとか、糖尿病になってから歯周病がみつかったといいますね」

――ＳＯＤは有効なんでしょうか

「これが、有効なんです。歯医者さんじゃないからそのメカニズムまでは説明できないが、軽くなりますよ。歯周病には腫れを治める抗生物質くらいしかこれといった薬はないんだ。だからいまのところＳＯＤしかないですね」

――虫歯予防には？

「あのね、最近の子供は歯も骨も弱い。だからカルシウムをたくさんとりましょう、歯を朝晩良く磨きましょうという。この啓蒙は科学的ではないんです。間違っている。一般的に歯と骨はカルシウムがリン酸塩と結合した形で作られているんだ。この骨の成分は、血液がアルカリ性だと骨に沈着するけど、酸性になると血液中で浮いているだけになるんだ。そして腎臓から

尿管、膀胱を通っておしっこになって出ていくんです。そのときに腎臓などでろ過されるんだが、カルシウムは石を作りやすいんだな。だから、腎臓結石、尿管結石、膀胱結石になる。つまり、骨を丈夫に、虫歯にならないようにするのは、カルシウムをたくさん摂る。歯磨きをするというのは正確ではなく、正しくは血液をアルカリ性にしましょう、なんだ。現代の食生活で骨の形成に必要なカルシウムは十分に足りているんだ。カルシウムを外から補うよりも、血液をアルカリ性に保つように心がけるほうがはるかに大事なんです」

――血液をアルカリ性に保つのには、やはり日本食ということですよね。肉乳製品は酸性にしますよね。

「そういうこと。あと、仕事のしすぎ、睡眠不足、ストレスもだめ」

――結局、生活習慣とアルカリ食品のＳＯＤに尽きますね。

「余談ですが、ＳＯＤはうちの猫にも効きましたよ。うちの猫ね、野良猫だった。だから拾ったときはろくなもの食べていなくて体の抵抗力がものすごく落ちていた。もちろん歯周病で顔も倍くらいに腫れてた。それがＳＯＤ飲ませたら腫れが3分の1になった」

――猫がＳＯＤ飲みますか？

「これがうちの猫はいやしいのか（笑）食べるんです。1日に2包飲ましている」

――なんと贅沢な。しかし、一般的には猫はＳＯＤを飲ませられないから、獣医さんからも錠剤を作ってほしいという要望が多いのですが

「そうですね。それは検討しないと」

■

SOD愛飲者インタビュー

乳がん、子宮の病気、悪性リンパ腫　数々の病魔に

ＳＯＤと共に打ち勝った人生

神奈川県　北島静子さん（75歳）

モデルから宝石デザイナーとして活躍その華やかな裏で数々の病魔が襲う

今回インタビューにお答えいただいたのは神奈川県にお住まいの北島静子さん。彼女の病歴だけを拝見していると、よく75歳のこのお歳までお元気でいられたなと驚くばかりです。その病歴は、乳がん、子宮の病気、悪性リンパ腫、そして現在も股関節の軟骨損傷による手術でリハビリ中。しかし、電話口から伝わるそのお声はお元気そのもの。しかも若々しい。理路整然と分かりやすく病状の説明をしてくださって、お歳を確かめたくらいでした。その理由はすぐに判明しました。なんと、北島さんはその昔、雑誌などの第一線でファッションモデルをされていたのです。そして今は宝飾デザイナーとして現役でいらっしゃるとのこと。バリバリのキャリアウーマンですからしっかりしているのは当然のことでした。なんでも、お嬢様もずっとモデルをされていて、結婚出産を経た今も一線で活躍中とか。

「ＳＯＤとはもうかれこれ20年もの付き合いになりますね。懇意にしていたインポートものを扱っていたお洋服のお店の方から勧められたのがキッカケでした。というの

も、私、元気そうに見えて、いろいろ大きな病気をしてきたんです。もともとのアレルギー体質もあり、そんな私の話を聞いて、いい健康食品があるわよと勧めていただいたんです。健康食品といってもほんとうにたくさん出ていますから、そのチョイスというのは出会いでしかないとは思うのです。私の場合は、このＳＯＤを勧められる前に飲んでいた健康補助食品がありました。それは、開発された方の息子さんがリンパ腫になって抗がん剤に変わる副作用のないものはないかと開発されたものでした。そしてＳＯＤでしょ？　丹羽先生のご本をいろいろ読ませていただいたら、同じような動機から開発されたものですよね。これはなにかのご縁かもしれないと思ったんです。もちろん、ご本などを拝見するにつけ、理にかなった本物だと思いました」

乳がん手術で細菌が再手術では肋骨を切り

北島さんがＳＯＤを飲むようになったのは20年ほど前、50歳過ぎでした。しかしその前に彼女はがんなどで何度も手術を受けていました。最初の手術は、37歳のとき。乳がんでした。

左の乳房全摘という手術を受けなければいけないということでずいぶん悩まれたと思います。というのも当時、モデルとして活躍されていたのですから、乳房摘出手術はモデルを廃業することを意味する選択でした。しかし、命には代えられません。乳房摘出手術に踏み切ったのでした。

ところが、その手術がとんでもないことに。

「乳がんの手術自体は成功だったのですが、手術のときに空気中の菌が肋骨に付着するということが起こったんです。というのも、当時の病院は今ほど厳密に殺菌されていなかったんですね。目に見える場所の殺菌にいっぱい、いっぱいでエアコンのダストまでは殺菌されていなかった。そんななかで冬の朝一番に手術が始まり、手術室に入ってすぐに暖房をつけたんです。そのときに空気中にエアコンのダストについていた細菌が飛散したんですね。その細菌が手術で胸の皮をはいで露わになっていた私の肩甲骨や肋骨に付着したというわけです」

乳がんの手術は成功し、そのときは細菌が北島さんの体内に入っているなんて誰も思いもかけなかったといいます。そうして１か月後。手術後はきれいに治まり、これで一安心と思っていたら、突然、肩甲骨のあたりが腫れ、高熱

ＳＯＤ様作用食品
体験者の声を
お聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒154-0012 東京都 世田谷区
駒沢５-13-１-205
日本ＳＯＤ研究会　藤沢宛
TEL 03－5787－3498
までご一報ください。

を発し、尋常でない状態になったのです。

「病院で診ていただいたら、骨に異常がみられるのですぐに手術だと。そして手術をしたら、肩甲骨の下の肋骨が1本、雑菌で腐っていたんです。ですから骨を切り取るという大手術でした」

40年前の出来事でした。40年前の日本はというと、高度経済成長の真っただ中でした。田中角栄が総理になり、日本列島改造論の構想の下、高速道路、ビルの開発が盛んに行われていました。大阪万博、札幌オリンピック、マクドナルドの1号店開店など、世界の先進国の仲間入りをしたばかりでした。ハード面が先行し、安全などのソフト面が遅れていた時代だったのかもしれません。北島さんの手術のように今では考えられないような事故がたくさんあったはずです。薬害エイズ事件でも1980年から10年間の出来事ですから、本当に日本の医療が近代化されたのは90年代に入ってからのことかもしれません。

会社設立もつかの間 子宮摘出、悪性リンパ腫 次々と病魔に

北島さんはそんな時代に働く女性として一線を走っていたのです。しかも2度の大きな手術を乗り越えたのでした。モデルを引退したものの、

「体調が戻った39歳の時に今度は会社をたちあげたんですよ。宝石などのデザインをする会社を始めたんです」

都心にオフィスを構え、自宅のある神奈川県の湘南から毎日電車で通勤されていたとか。それもグリーン車通勤。車内はほとんど貸切状態だったそうです。まさに、北島さんはセレブなキャリアウーマンの先端を歩いていらしたのです。それにしても男性顔負けのバイタリティの持ち主です。

しかし、取り戻した健康もそうは長く続きませんでした。よく丹羽先生も言います。がんは決して完治はしない。がん体質なのだから、日々、ストレスのないゆったりとした規則正しい生活と肉乳製品を控えた食事が大事だと。北島さんはまだ40代になったばかりでしたし、仕事に燃えていましたからなかなかそんな生活は送れません。案の定。

「42歳のとき、今度は悪性の子宮筋腫、つまり子宮がんの一歩手前の状態だったんです。このままではがんになるというので子宮と卵巣を摘出しました」

それでも仕事はやめなかった北島さん。宝飾品の買い付けなどで年に数回は海外にでかけ、ヨーロッパ中を飛び回っていたそうです。とにかく動き回るのが大好きとおっしゃる旺盛な好奇心。これは病気だからといって抑えられるものではないようです。そんな彼女を支えるようになったのがＳＯＤでした。

「子宮摘出のあとから飲み始めました。このＳＯＤがすばらしいものですから、無理をしてもＳＯＤのおかげで疲れにくいものですから、ついついまた無理をしてしまうんです。ヒールのパンプスをはいて駅の階段を上り下りしても、まったく苦にならなくなったんです。更年期さえも感じないままに乗り越えていましたね」

ＳＯＤの効果が、幸か不幸か北島さんをさらに仕事人間にしてしまったようです。モデル時代からつちかわれた北島さんのセンスは多くの人を魅了し、仕事は順調そのものでした。オフィスに泊まり込んでの徹夜作業もしばしば。さ

らに今日はイタリア、明日はニューヨークと世界中を飛び回り、一息つく間もない忙しさでした。そんな生活が10年あまり続いたある日のことでした。

「なんか口の中に唾液がすごく溜まるんです。そのうちに左の首のうしろのリンパが腫れてきて、これはおかしいなと。それで検査をしてもらったら、やっぱり、きました。今度は悪性リンパ腫でした。先生のお話をうかがったり、いろいろ調べたりしますと、抗がん剤などの化学療法治療しかなく、５年以上の長期生存率が30％くらいだと知り、さすがに今度は難しいかなと思ったんです。でも、私にはＳＯＤがあると思うとがんばれそうな気がしたんです」

そうして北島さんは入院して悪性リンパ腫の抗がん剤治療に入りました。９年前、65歳のときでした。

「そのときは、ああ、またきたかと。はい、いらっしゃい。私にはＳＯＤもあるし、大丈夫。仕事に夢中になりすぎたのですから、自業自得だなと。決して怖くはなかったです。やはり病は気持ちが大事ですね」

大量摂取で副作用ゼロ ＳＯＤは私の戦友です

「通常は４包飲んでいたＳＯＤをこのときは朝昼晩に10包ずつ飲みましたね。１日に30包。抗がん剤は、当時まだ日本では認可されていなかった抗がん剤、リツキサンを（注１参照）処方していただいたんです。私の治療のちょうど１か月後に認可されたんですよ。私の時はまだだったので保険が効かなくて１本30万円くらいしました。高かったですね。それを６本投与しました」

この抗がん剤は、吐き気で食欲が落ちたり、白血球が急に減って体がだるく、熱が出たりする副作用が見られます。

「それが私にはまったくなかったんです。入院していた病棟のフロアは同じ病気の方ばかりで、お隣の病室からゲーゲーと吐かれている音とか、苦しんでいる声がひんぱんに聞こえてくるんです。なのに私は逆に食欲が出て、先生方がびっくりされていました。しかも白血球の数値も落ちなかったんです。ですから入院中にどこそこのケーキが食べたい、おはぎが食べたい、あそこのパン屋のパンがおいしいから買いに行ってくる、なんて言ってましたね。こんな入院患者いませんよね」

いやはや入院されても北島さんらしい闘病風景です。自宅療養中にもイタリアに買い付けにいかれたそうで、恐れ入ります。ＳＯＤとこの前向きな姿勢が病を蹴散らした一因でしょう。

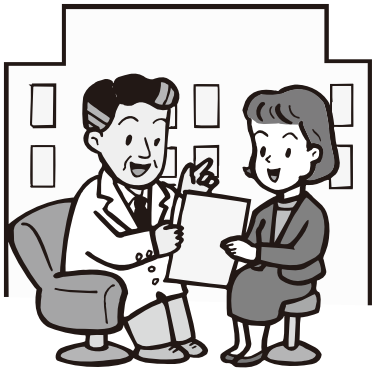
「ＳＯＤの話を先生にしましたら、ご存じなくて成分などパッケージの表示をメモされていましたから、丹羽先生の本を読まれるとわかるかもしれないですよ、とお教えしました。それくらい先生方が驚かれたんです。私のデータは珍しい症例として論文に記録されたくらいですから。これもすべてはＳＯＤと丹羽先生のおかげです」

そうおっしゃる北島さんはこの病気を機にようやく都心のオフィスを引き払いました。と言ってもお仕事をやめたわけではなく、オフィスをご自宅に移しただけ。通勤のストレスをなくして今もデザ

インのお仕事をされています。

「ただ、３か月前に左足の股関節の軟骨がすり減りまして、手術したんです。今はリハビリ中です。でも、ＳＯＤのおかげで術後の回復が驚くほど早く、またしても先生方を驚かしています（笑）。今も２か月に一度、血液検査に行くのですが、そこでも血液がさらさらで、パーフェクトだそうで、どうしたらこんなに完璧な血液になるんですか、教えてください、と言われるんですよ」

北島式ＳＯＤの活用法は、通常は１日に４、５包で、疲れたなと思ったら７、８包、そして風邪をひいたら10包飲むそうです。



「でもね、ＳＯＤを飲むようになってからなかなか風邪をひかないんですよ（笑）。ですから、ひきそうだなと思ったら10包ですかね」

そうして北島家ではお嬢さんとお孫さんもＳＯＤを愛用されています。

「孫が私と似ていてアレルギーがあるんです。皮膚科に通っていたんですが、ステロイド塗ったあとの肌が白く薄くなったんです。それで病院にそのことを相談したら、日焼け止めクリームを塗ってから日焼けしてくださいと言われて、それってねぇ、あんまりですよね。そんなこんなで娘が悩んでいたのでＳＯＤを勧めました。最初はまずいから嫌（いや）だと言っていたのですが、ジュースに混ぜてのむようになってから肌がどんどん治ってきたんです。それまでは乾燥肌というかサメ肌でがさがさしていたのに、つるつる。一緒に飲み始めた娘の肌まできれいになったと喜んでいます」

お嬢様も北島さんと同じモデルの道を歩まれているとか。モデルさんに肌のトラブルは大敵。ちょっと荒れが気になるときも、ＳＯＤを飲むと翌日つるつるになるので手放せないそうです。

北島さんの輝かしい人生に寄り添うようにいつも病がありました。乳がん、骨の手術、子宮摘出、悪性リンパ腫、股関節手術と大きな手術、闘病は、ともすればくじけてしまいます。それを飄々（ひょうひょう）と乗り越えてこられた北島さん。心から尊敬します。

「私にはＳＯＤという戦友がいますから。もう、病院は必要ない、ＳＯＤの量を調節すればいいと確信しました。今もリハビリ中で大変なのですが、なんとしてでも、もう一度、パンプスをはいて、自分の足で歩いて、都心にお買い物に行きたいんです」

とほがらかにおっしゃるその声はどこか丹羽先生に通じるものを感じます。かっこいいというのは北島さんのような女性のことを言うのでしょう。生き方、心意気、すべてがかっこいいです。

長々とインタビューにお答えくださってありがとうございました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

注１：リツキサン

アメリカで開発された悪性リンパ腫の一種、非ホジキンリンパ腫に効果的な薬。２００１年に日本でも認可され発売。リツキサンと結合したリンパ腫細胞に対して免疫反応が強く起こり、貧食細胞（マクロファージ）がリンパ腫を異物と認識して、食べたり、破壊したりします。CD20という目印のあるタンパクにだけ結合するので、従来の化学療法に比べ、正常細胞への副作用が少ないのが特長です。

BOOK 紹介

工藤さんちの幸せを呼ぶお取り寄せ

工藤雅子著（マガジンハウス刊）

47歳現役最年長投手、工藤公康さんちの食卓を飾っているのは、妻・雅子さんが自分の足で訪ね歩いた、有名産地の食材ばかり！（本誌帯より）

一昨年「工藤家の元気が出る食卓」を紹介しましたが、今年も工藤投手の奥様で管理栄養士の雅子さんが食事に関する本を出版しました。題して「工藤さんちの幸せを呼ぶお取り寄せ」。なんと、このお取り寄せ品のなかに丹羽メディカルのSOD様食品とルイボスTXが紹介されました。前作でもチラッと紹介されたのですが、今回は1ページにどーんと掲載されています。しかも「思いを伝えるお取り寄せ」「みんながハッピーになれるお取り寄せ」といった9種類に分けられた目次のなかで「父ちゃんの体調を整えるお取り寄せ」というカテゴリーのなかに紹介されていたのがうれしい限りです。SODもルイボスTXもまさに体調を整える逸品。その本文をここに抜粋させていただきます。

「免疫力を高めたい現代人にこの習慣はおすすめです。うちの子がアトピーになったときにこれでずいぶん良くなりました。SOD ロイヤル、聞き慣れないかもしれませんが、免疫学の丹羽靱負（耕三）博士によって生み出された穀物など植物成分の健康食品で、体調を整えたり、デトックス効果もあるようです。父ちゃんの健康管理にも大活躍ですよ」

工藤選手と結婚してから「食」の大切さに気付き、安全な食材を求め全国を回ったという雅子さん。そんな中から今回、選りすぐりの安全でおいしいお取り寄せが紹介されています。「人のからだは食べ物でできている」ということからあらゆる本を読み、人に会い、試行錯誤の中でみつけた工藤家の食生活。決して“～でなければならない”という自然食オタクではなく、できる範囲内で気を配る食卓なのです。とはいえ有機栽培にこだわる農家を突然訪ねてみたりして、雅子さんならではの情熱と愛情が伝わってくる本です。

さらに雅子さんは、この11月に横浜で「生活食品キャロットにんじん」というお店をオープンさせました。雅子さんがプロデュースする、身体が喜ぶ「食」に関わるあらゆる良品を紹介するお店です。ホームページからネット通販もできます。もちろんSODとルイボスTXもあります。

雅子さんは、この本の収益の一部をインドのカーストの石割を天職としているひとたち、ＨＩＶエイズに感染して生まれてきたベトナムの子供たち、フィリピンの少数民族の女性や子供たちなどへの支援をされている「アニーファンド」さんの活動のために寄付されます。

幸せを呼ぶお取り寄せは、本を購入しても幸せを呼ぶんです。

生活良品キャロットにんじん
神奈川県横浜市中区山下町168－1
レイトンハウス横浜２Ｆ　℡ 045-222-0078
http://www.charm-thanks.com